

就職への夢 Vision ディスカッション（科学技術高校（建築））



【実施日】平成 28 年 4 月 15 日(金)

【対象】静岡県立科学技術高等学校建築デザイン科

【人数】3 年生 38 名（女子 15 名）

- ・建設業 3 年以内離職率 50% の原因に切り込む！！
- ・建設業を目指す高校 3 年生による本音のディスカッション！！

1 目的

建設業の就業者数は、他産業に比べて、若年者の減少により、高齢化が著しく進行しています。また、建設業に就職しても、高卒者の 3 年以内離職率は 50% を超えており、2 人に 1 人が離職している異常事態をどう解決していくか、就職後の定着が建設業界の課題となっております。

そこで本市では、若年者（現役高校生）が建設業を就職先として選択しない理由や、就職しても離職率が高くなっている原因を探ることを目的に、グループ討議や討議内容の発表を行い、建設業への就職に関する意識調査を実施しました。

2 実施方法

参加者を 6 班に分けてグループ討議。建設会社の社長になったとして、若手技術者が入ってくる会社にするためには、下記のような就業規則等をどのように改善したらよいかを話し合う。

【討議項目例】雇用体系、休日、給与ボーナス、残業、仕事のやりがい、女子の活用、会社の PR 方法、求人方法、作業着、職場（現場）の環境、託児制度、公務員試験 等

3 実施結果

グループ討議の詳細内容は、別添資料をご覧ください。

4 考察

高校生たちは元気よく自由な発想で、自分たちの気持ちを真直ぐに発表してくれました。建築デザイン科は女子生徒も多いため、女性視点のアイデアが多く出ました。生徒側への効果として、建設業への就職についてまだ漠然とした考えが多いと推測される高校生に、就職というものを客観的に捉えることで、生徒（自分自身）の考えをまとめたり、経営者側の立場になってワークを進める事で雇用者側の事も考える潜在力を養い、高校生の就職に対する視野を広げました。

今回のディスカッションで発表された生の声には、就職後の定着率が上がらない建設業の課題に繋がるものが数多く存在していましたので、ディスカッションの内容を、高校生の代表が建設業界と市幹部職員に打ち明ける特別会議を開催しております。【※こちらの詳細については、16 産官学特別会議のページをご覧ください。】

以上。

<資料> ディスカッション（科技高建築） ダウンロード